

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	GW-234CW
S/No	
お買い上げ年月日	保証対象部 機器本体 (消耗部品は除く)
お買い上げの日から1年	
お客様住所	様
TEL.()	
販売店	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。



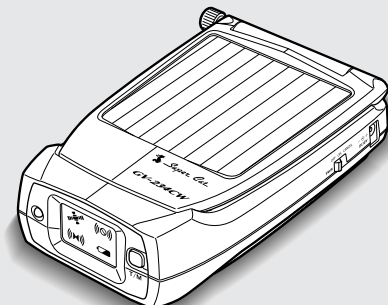
GPSアンテナ一体型コードレスレーダー探知機

GV-234CW

取扱説明書

12V車専用

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の前もってお知らせする受信機です。



目次

はじめに

安全上のご注意	2
各部の名称と働き	4
電源について	6
取り付けかた	8

使いかた

レーダー編	
音量/警報音を設定する	11
便利な機能について	13
レーダーアラーム機能について	13
iDSPについて	14
2バンド受信機能の使いかた	15

GPS編

GPS測位機能について	17
GPSゾーン警報&圏外通知について	19
インテリジェント・キャンセルの使いかた	20
ハイブリッド・モードについて	21

その他

取締りのミニ知識	22
取締りレーダー波を受信しにくい場合	23
仕様	24
故障かな?と思ったら	25
アフターサービスについて	26
保証書	裏表紙

インテリジェント・キャンセル	20ページ
誤警報をシャットアウトし、必要な時だけの確に警報します。	
GPS測位機能	17ページ
GPS4識別警報	17ページ
ハイブリッド・モード	21ページ
シガープラグコードを接続すると、GPS測位機能がグレード・アップします。	
5バンド受信機能	
GPS、X・Kツインバンドの他に、無線2バンド受信をプラス。	
2バンド受信	15ページ
カーロケ圏外通知	16ページ
EXTRA/エクストラ感度☆☆☆☆	12ページ
iDSP	14ページ
統合的デジタル信号処理技術(i デジタル)により、超高精度識別を実現。	
レーダーアラーム機能	13ページ
自動制御機能/ローバッテリー警報	7ページ

△注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

ご愛用者アンケートにご協力ください

携帯(iモード/Vodafone live!/EZweb対応)またはパソコンから、お答えください。

- 「メール会員登録」をしてください。(登録無料)
- 宛先に「yupiteru@mo-on.com」、件名または本文に『会員』と入力し、メールを送信してください。
- しばらくすると、確認のメールが返信されますので、登録画面にしがって、必要事項を入力してください。

※ 迷惑メール対策で、ドメイン指定受信を設定されている方は、弊社からの確認メールのために、「@mo-on.com」からのメールを受信できるように設定してから、メールしてください。



宛先	yupiteru@mo-on.com
件名	
会員	
本文	
会員	

コピテル工業株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

2100



※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🚫 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

🚫 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

🚫 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

🚫 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

❗ 取り付けは、自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

🚫 警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

🚫 バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

🚫 医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

🚫 助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体等が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

シガープラグコード接続時

❗ シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起して火災の原因となります。

❗ シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

⚠ 警告

シガープラグコード接続時

❗ シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起して火災の原因となります。

🚫 ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

🚫 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

🚫 表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

🚫 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 注意

シガープラグコード接続時

🚫 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

❗ 取り付けは確実にを行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

❗ 車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは電源を切ってください。また、シガープラグコードを接続している場合は、エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

🚫 シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

👉 お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

ご使用にあたって

■ 周辺的环境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。

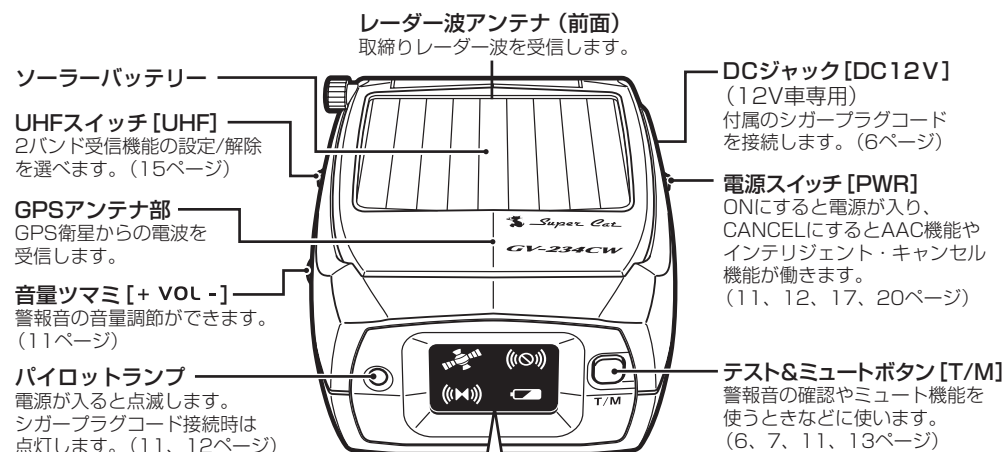
■ 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。

■ 一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスのなかには、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

各部の名称と働き

本体



GPSアイコン

GPSサーチ中やGPSボイス警告時に、青色で点滅します。(18、19ページ)



レーダーアイコン

レーダー波受信時に赤色で点滅します。また、電波の強さにより点滅速度が変化します。(13ページ)



無線アイコン

無線を受信すると、緑で点滅します。(16ページ)



バッテリーアイコン

テスト&ミュートボタンが押されている間は、バッテリーの残量を表示(緑/オレンジ/赤)し、バッテリーが消耗してくると赤色で点滅します。(6、7ページ)

付属品

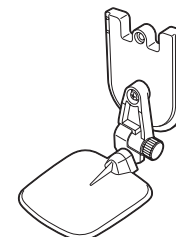
ご使用前に付属品をお確かめください。

- 専用ニッケル水素電池(1)
- サンバイザー用クリップ(1)
固定ネジ/シャフト付)

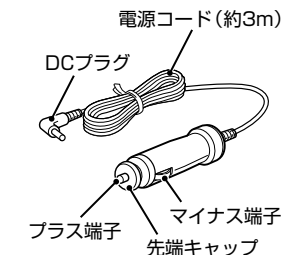


- 粘着マット(ブラケット用1)
- マジックテープ(1)
- 取扱説明書・保証書(1)

- ダッシュボード取付用
ブラケット(1)



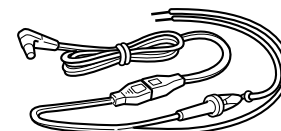
- シガープラグコード(1)



別売品のお知らせ

- 電源直結コードOP-4(約4m)
1,575円(税込)

シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。



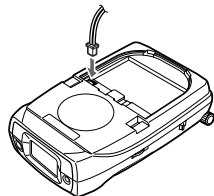
- 交換用ニッケル水素電池
2,100円(税込)

本電池は本機専用です。

ソーラーバッテリーからの充電のしかた

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続する

本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。



本機はソーラー電卓などと違い、ソーラーバッテリーのみでの駆動はできません。専用の充電電池を接続して、初めて正常に動作しますので、必ず接続してください。ソーラーバッテリーは専用の充電電池を補充するためのものです。

2 ソーラーバッテリーに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラーバッテリーに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。効率の良い充電ができます。

シガーライターソケットからの充電のしかた

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。



警告

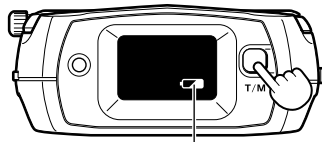
！ 助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、走行中や駐車中でも、ソーラーバッテリーによる太陽光からの充電ができます。ただし、初めてご使用になるときは、電源スイッチをONにして、付属のシガープラグコードを接続し、必ず合計10時間(例 1日2時間で5回)以上、走行しながら充電してください。GPS測位は、電流を多く消費するため、電池の消耗により測位できないことがあります。また、特に初めてのときなど、地理的状況により測位に20分以上かかることがあります。障害物や遮へい物などのない視界の良い場所に移動し、車を停車して行ってください。

※オートパワーOFF機能(➡7ページ)により、振動のない状態で約3分間以上続けると、自動的に電源が切れますので、測位するまでの間は、3分以内に振動を与えて電源が切れないようにしてください。

●本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に比べて、電流を多く消費するため、GPSパワーセーブ[特許出願中]/ロングライフ設計[特許 第2075785号]および大容量電池を採用していますが、ご使用になる条件によっては電池の消耗

2 10時間(例 1日2時間で5日)以上使いながら充電した後、シガープラグコードを抜いてテスト&ミュートボタンを押し、バッテリーアイコンが[満充電]状態であることを確認する(➡7ページ)



バッテリーアイコン[満充電]状態

- 本機はDC12V(マイナスアース)車専用です。
- シガープラグコードで充電する場合、ローバッテリー警告から、約10時間でフル充電できます。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(➡5ページ)

が早くなることがあります。

- 充電は電源スイッチのON/OFFに関係なくできます。
- 満充電から無警報の状態、約60時間*の連続使用ができますが、薄曇りなどの天候が続き、ソーラーバッテリーからの充電が充分でなかったり、GPS測位の状況によっては、バッテリーの消耗が激しく、60時間以内にローバッテリー警告になることがあります。
- ※連続使用時間は、各種機能の設定状態により異なります。
- 付属の専用バッテリーには寿命があります。充電が充分でなくなったら、新しいものと交換してください。
- 交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、バッテリーアイコンが点滅します。さらに消耗するとバッテリーアラーム音が鳴ります。[ローバッテリーアラーム]

バッテリーの状態	バッテリーアイコン
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態	赤色点滅
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 (本体動作しなくなります)	赤色点滅 ローバッテリーアラームが鳴ります(約1分間)

●日中はバッテリーアイコンの赤色の点滅が見えにくい場合がありますので、ご注意ください。

●オートパワーON/OFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続けると、自動的に電源が切れます。また、振動を検出すると電源が入ります。

※振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。

※使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。

※走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくく、バッテリーアラーム表示がひんぱんになる場合があります。このようなときは、シガープラグコードを使用し、こまめに充電してください。

■バッテリーの残量表示について

シガープラグコードを抜いた状態でテスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量の状態を表示します。

バッテリーの状態	バッテリーアイコン
残量が充分な状態	緑色点灯
少し消耗した状態	オレンジ色点灯
充電が必要な状態	赤色点灯

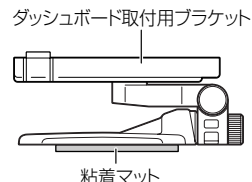
- シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
- 電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。



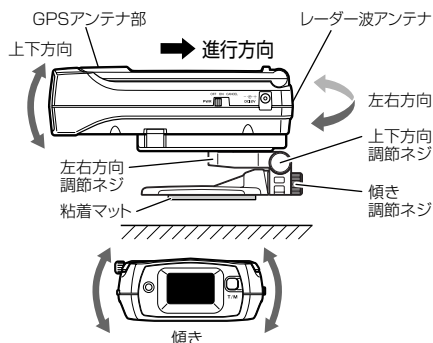
本機は、水平方向に対する傾きの調整もできるフレキシブルブラケットを採用しています。[特許出願中]
また、国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。

ダッシュボードに取り付ける

1 ブラケットに付属の粘着マットを貼り付ける



2 本体を道路に対して水平に、またアンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整する

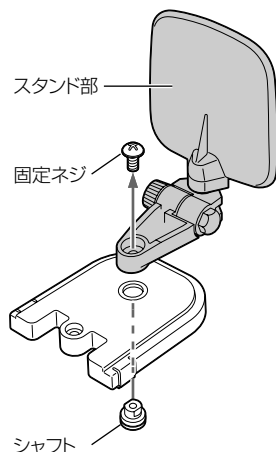


- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを確認してください。
- 貼り付ける側の保護シートをはがし、しっかり貼り付けてください。
- GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナの前に、他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ダッシュボードからはずす場合は、ブラケットスタンド部を持って、ゆっくりと行ってください。本体やブラケット上部を持つと、破損の原因となります。

3 保護シートをはがし、しっかり固定する

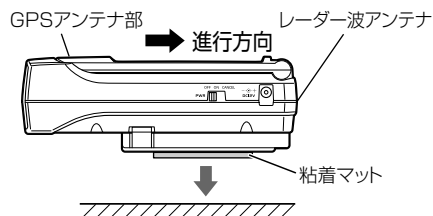
ダッシュボードに直付けする

1 ブラケットの固定ネジをはずして、スタンド部をはずす



- 固定ネジやシャフトは、なくさないように保管してください。

2 取り付けたとき、本体が道路に対して水平で、アンテナが進行方向(前方)を向くことを確認し、付属の粘着マットで、ダッシュボードに固定する



粘着マットについて

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できますが、はがしても接着剤などの跡が残りにくいのが特長です。

また、表面に付着したホコリや汚れなども、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元し、再度使用することができます。

■粘着マットの上手な使いかた

粘着マットは、両面テープなどと比べるとはがしやすい反面、傾斜した面やダッシュボードの表面の素材や状態によっては、貼り付きにくく安定しないことがあります。

- 粘着マットの保護シートをはがす前にダッシュボード上に仮置きし、本体を水平に調整してください。
このとき、すべり落ちたり、傾いて倒れてしまうような場所は避けて、できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し、固定してください。

警告

- エアバックの上に取り付けしないでください。万一のとき動作したエアバックで飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

注意

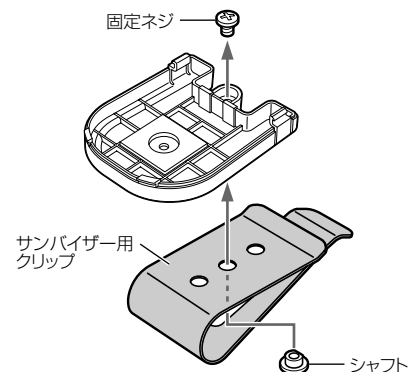
- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。
- 上下方向の角度を調節するときは、必ず上下方向調節ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。



サンバイザーに取り付ける

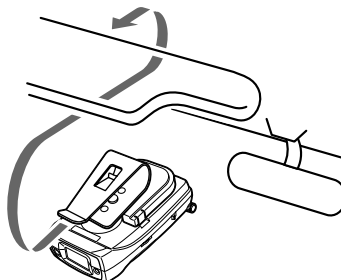
1 ブラケットからスタンド部をはずし、固定ネジでサンバイザー用クリップを取り付ける

サンバイザー用クリップは、取り付け穴の位置を変えることにより、前後の調節ができます。太陽光が十分に当たり、GPSの電波を受信しやすい位置に取り付けてください。



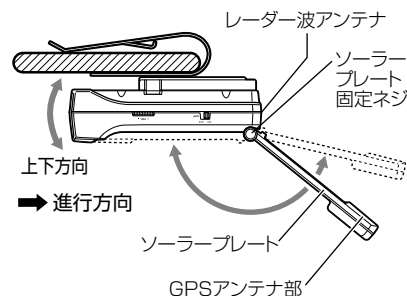
- サンバイザーに取り付けられない場合でも、固定ネジやシャフトはなくさないように、クリップやブラケットに付けた状態で保管してください。

2 助手席側のサンバイザーに挟み込む



3 取り付け角度、ソーラープレートの角度および前後位置を調節する

道路に対して水平に、またアンテナが進行方向を向くようにします。



- サンバイザーでスピーカー部分を塞がないようにしてください。警報音が聞こえにくくなります。
- ソーラープレート固定ネジをゆるめて、太陽光がよく当たるような角度に調節し、しっかりネジを締めてください。
- GPSアンテナ部がGPSの電波を受信しやすくなるように、できるだけ前に出すようにしてください。

警告

- ソーラープレートの角度を調節するときは、必ずソーラープレート固定ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。

次のような理由で、ソーラープレートに太陽光が十分当たらない場合や、サンバイザーの形状により取り付けができない場合は、ダッシュボードへの取り付けをおすすめします。

- フロントガラスの上部がスモークやサンシェード付きのとき
- サンバイザーが奥まった位置のとき
- サンバイザーの形状により、本体が水平にならないとき



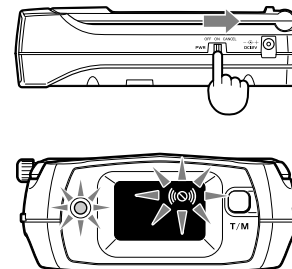
設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。

ターン・オン・ビーブ(ピロピロッピロッ…)が鳴り、レーダーアイコンが点滅します。

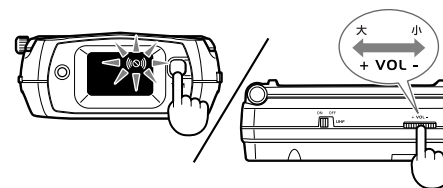
- UHFスイッチをONにしているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ビビビビッ』と鳴ります。(17ページ)



2 音量を調節する

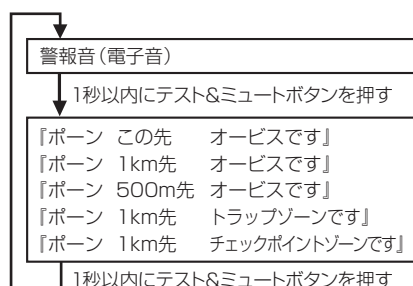
テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。

テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(13ページ)



テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音またはボイス)を確認することができます。

一旦テスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音やボイスの確認ができます。



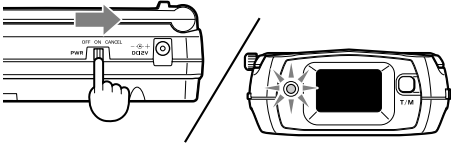
1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

3 AACシステム機能について

GPSの速度検出機能により、AAC/不要警報カット機能が働きます。

電源スイッチを「CANCEL」にすると、AAC機能およびインテリジェント・キャンセル機能(➡21ページ)が追加されます。

パイロットランプが赤色または緑色の点滅の時は、これら2つの機能がON(設定)の状態です。



AAC/不要警報カット

- 走行速度が時速30km未満の場合は…
取縮りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。
 - GPS測位されない状態では、AACシステムは動きません。

受信感度について

本機はハイレベルな受信性能のエクストラ感度に固定されています。
また、高感度による誤警報は、インテリジェント・キャンセルに対応しています。(➡21ページ)

パイロットランプの点滅色と警報動作

AACシステムをON(設定)にすると、低速走行/停車中の不要な警報を抑えることができます。

時速		30km		30km	
車の状態		停車	走行中	走行中	走行中 停車
AAC ON	パイロットランプ	赤色点滅	緑点滅	緑点滅	赤色点滅
	警報状態	警報しない	警報する	警報する	警報しない
AAC OFF	パイロットランプ		オレンジ色点滅	オレンジ色点滅	
	警報状態		警報する	警報する	

オートクワイアット/ディマー機能

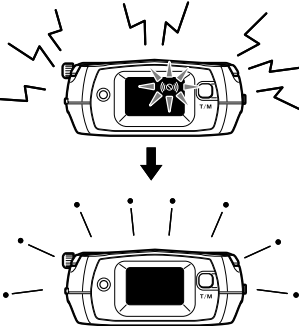
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、レーダーアイコンなどのアイコン類も暗くなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラモードの高感度受信により、後方からの取縮りレーダー波もしっかり受信します。

ミュート機能

- 取縮りレーダー波の発信源の確認ができたら
警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ビープ

電源スイッチを入れたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



- バッテリーが消耗しているときは、ターン・オン・ビープのあと、しばらくしてからローバッテリーアラームが鳴ります。
- UHFスイッチをONにしているときは、『ピロっピロっ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(➡17ページ)

レーダーアラーム機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取縮りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(電子音)と光(レーダーアイコン)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取縮りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取縮りレーダー波発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
レーダーアイコン	点滅速度が変化します。

- レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、アイコン類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)



本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)※により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常警報音とは違うニアミスアラーム(ピロピロ・・・)でお知らせします。[ステルス識別]

- iDSPを解除することはできません。
- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※本機はフリップチップinアンテナ[特許 第3229564号]を採用しています。

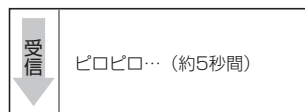
ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

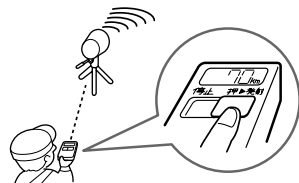
- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

<ステルス波を受信したとき>

- ニアミスアラームでお知らせします。



約5秒以上続くと、通常の警報音に変わります。

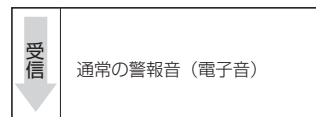


新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。

<新Hシステム波を受信したとき>

- 選んでいる通常の警報音(電子音)が鳴ります。



取締無線、カーロケ無線の電波を受信すると、アラーム音でお知らせし、アイコン表示します。[2バンド受信]

1 350.1MHz取締無線受信機能について

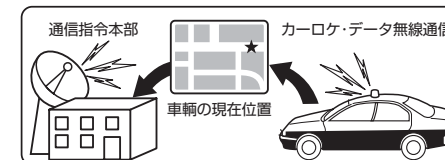
スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

※ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

※ カーオーディオやカーナビゲーションなどの影響により、受信状態になることがあります。あらかじめご了承ください。

2 407.7MHzカーロケ帯受信機能について

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。このように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。



- カーロケーターシステムは、まだ導入されていない地域やシステムが変更になった地域もあり、すべての移動局に搭載されているとは限りません。また搭載車であっても、使用されていない場合があります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズれる場合があります。

■カーロケ圏外通知【特許出願中】

407.7MHz帯の電波を受信したとき、『ピッピピッ』とお知らせします。【カーロケ受信】

更に、【カーロケ受信】後の電波の受信状況により、発信元が圏外になったと思われる場合、『ピッピピッ ピーピッ』とお知らせします。【圏外通知】

①カーロケ受信



<ストレス・モード>

②圏外通知

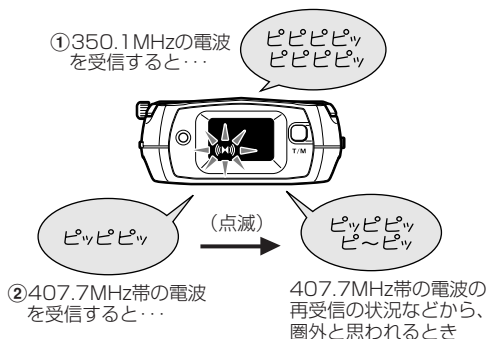


<リラックス・モード>

カーロケ圏外通知により、ストレスモード⇄リラックスモードのスムーズな切り換えを促し、より快適で安心な運転をアシストします。

350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信すると

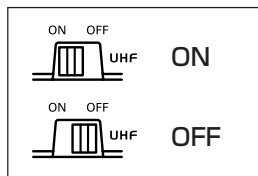
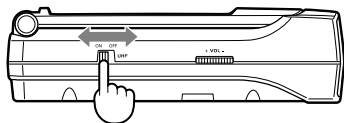
●無線アイコンが緑色に点滅し、アラームでお知らせします。



- 350.1MHz、407.7MHz帯の電波を一瞬间でも受信すると、アラームが鳴ります。
- アラームが鳴ってから、30秒以内に再度それぞれの電波を受信しても、アラームによるお知らせはしません。
- アラームが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。
- カーロケ受信から圏外通知までの間、無線アイコンが点滅します。

1 設定する

UHFスイッチで動作モードを選びます。



GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式のオービスそしてLHシステムも、ボイスで警告します。【GPSボイス警告：特許出願中】

また、固定設置式のオービスだけでなく、過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)がよく行われたゾーンなど、**ターゲット**への接近をボイスまたはアラームでお知らせします。【GPS4識別警報】

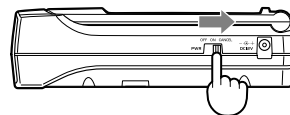
- | | |
|--------------|---------------|
| ① オービス | ② トラップゾーン |
| ・ループコイル式オービス | ③ チェックポイントゾーン |
| ・LHシステム式オービス | ④ Nシステム |
| ・新Hシステム式オービス | |
| ・レーダー式オービス | |
| ・トンネル出口オービス | |

さらに、「誤警報」と思われるエリアを自動登録し、次にその場所を通る時は、誤警報を抑えます。

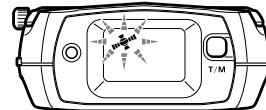
【インテリジェント・キャンセル：特許出願中】

1 GPS測位機能を使う

電源スイッチをONまたはCANCELにすると、GPS測位機能もONになります。(GPS測位機能のみOFFにすることはできません)



GPSの電波をサーチはじめ、GPSアイコンが青色に点滅します。



サーチが終わり、GPS測位機能が動くと、GPSアイコンが消灯します。初めての測位のときは、『ポーン ポーン』とお知らせします。



TVによるGPS測位障害について

車載TVなどをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- サーチが終わった後でも、電波を受信できない場合、GPSアイコンが点滅します。その後、再び測位するとGPSアイコンが消灯。
- 本機は、バッテリーセーブのため、オービスまでの距離が離れているときなど、間欠動作で測位を休む場合があります。そのため、トンネルの中や高架の下など、測位できない場所でも、GPSアイコンが点滅しないことがあります。
- このように、GPSアイコンが消灯していても、測位できていない場合があります。

内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくとき…

オービスに対してボイスで警告します。
[GPSボイス警告：特許出願中]

ループコイル式	『ポーン 1km(500m)先オービスです』
LHシステム	『ポーン 1km(500m)先オービスです』
新Hシステム	『ポーン 1km(500m)先オービスです』
レーダー式	『ポーン 1km(500m)先オービスです』

※光電管式は撤去され、オービスは上記4種類になりました。

GPSアイコンが青色で点滅します。

- 1 約1km～500m手前で、GPSボイス警告し、しばらくの間、青色に点滅します。
- 2 約500m～直前で、もう一度GPSボイス警告し、しばらくの間、青色の速い点滅をします。[GPS 2段階警報]
- ただし、GPS測位の状況によっては、1回のみの警報になります。



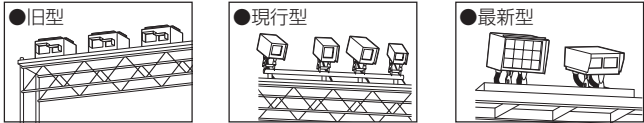
トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警告できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所*で、出口付近のオービスをボイスで警告します。
[トンネル出口警告]
『ポーン この先オービスです』
※GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみの警告になります。

●フレックスディマーについて
GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて、夜間のランプ類の明るさを抑え、眩しさを防ぎました。
・パイロットランプの明るさは変わりません。

内蔵メモリーに登録されているNシステムのポイントに近づくとき…

内蔵メモリーに登録されているNシステムの約300m手前から通過直前に、『ピロロロ〜ン』と警報し、GPSアイコンがしばらくの間、速い青色点滅をします。[NシステムGPSアラーム]

- ・新設のNシステムなどで、未登録の場合は、[NシステムGPSアラーム]はされません。
- ・[NシステムGPSアラーム]された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。



GPSボイス警告は固定設置式のオービスに近づくとき警報しましたが、GPSゾーン警告&圏外通知では、過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンが予めメモリーされていて、そのゾーンの1km手前とゾーンの中に入った時、そしてゾーン圏外になった時の3段階でお知らせします。

トラップ・ゾーンの場合	
1km手前…	『ポーン 1km先トラップ・ゾーンです』 (GPSアイコン：青色点滅)
ゾーンの中に入った時…	『ポーン トラップ・ゾーンです トラップ・ゾーンです』 (GPSアイコン：速い青色点滅)
ゾーン圏外になった時…	『ポーン ビッピビ ビービ』

チェック・ポイントゾーンの場合	
1km手前…	『ポーン 1km先チェックポイント・ゾーンです』 (GPSアイコン：青色点滅)
ゾーンの中に入った時…	『ポーン チェックポイント・ゾーンです チェックポイント・ゾーンです』 (GPSアイコン：速い青色点滅)
ゾーン圏外になった時…	『ポーン ビッピビ ビービ』

※トラップやチェックポイントは、過去のデータに基づきメモリーされていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください



インテリジェント・キャンセルの使いかた

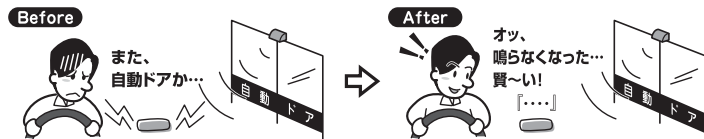
インテリジェント・キャンセルは、「誤警報」と思われるエリアを自動登録し、次にその場所を通る時は、自動ドア等の電波を受信しても誤警報を抑えます。

『鳴りすぎ』を減らし、更なる快適ドライブを実現する機能です。[特許出願中]

インテリジェント・キャンセルのしくみ

- 1 取締まりレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- 2 取締まり波かどうかを識別。
- 3 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
最大100カ所まで登録でき、それを超えると

- キャンセル履歴の最も古いエリアを消去し、新しいエリアを登録します。
- 4 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]
キャンセル中は、レーダーアイコンがゆっくり赤の点滅をします。



- GPS測位していない時や誤警報エリアの状況等によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ※ 電源スイッチをOFFまたはONの位置にすると、インテリジェント・キャンセル機能は働きませんが、自動登録したエリアは登録されたままです。再び、電源スイッチをCANCELにすると、前に自動登録されたエリアでもキャンセルされます。

自動登録されたエリアを全て消去するには…

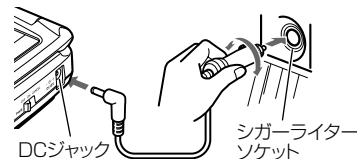
- ① テスト&ミュートボタンを押しながら、電源スイッチを「ON」にする
 - ② ターン・オン・ビーブ(『ピロッ ピロッ』)音が鳴り、全て消去します。[オールクリア]
- 一旦、消去されると、元に戻すことはできませんので、ご注意ください。
 - 登録エリアを個別に消去することはできません。



ハイブリッド・モードについて

シガープラグコード
接続時

本機は、ソーラー充電方式のコードレスモデルですが、付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、シガープラグコードを接続することにより、バッテリーを充電しながら、次のように、GPS測位機能がグレード・アップします。[特許出願中]



- シガープラグコードを接続すると、パイロットランプは点滅から点灯になります。

●ハイブリッド・モード時のレーダーアイコンの点滅について

- オービス・ポイントに近づく、
- ① 約1km～500m手前まで点滅(青色)を続けます。
 - ② 約500m手前～直前まで速い点滅(青色)を続けます。

オービス・ポイント直前告知

オービス・ポイントの直前で、『ポーン』と音でお知らせします。



※ GPS測位または走行地点の地理的な状況によっては、『ポーン』と音でお知らせしない場合があります。

●ハイブリッド・モード時のフレックスディマーについて

パイロットランプも他のアイコンと同様、GPSの時刻情報により、夜間の明るさが抑えられます。
(➡19ページ)

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法 (追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケータシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

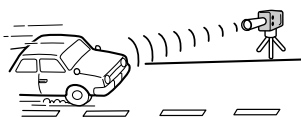
2. 距離と時間で算出する方法 (光電管式、ループコイル式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3. 電波を使って算出する方法 (レーダー方式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流になると思われます。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

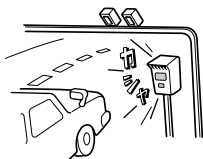
人が測定装置を道路際に設置して行います。

取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機(オービスⅢ)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

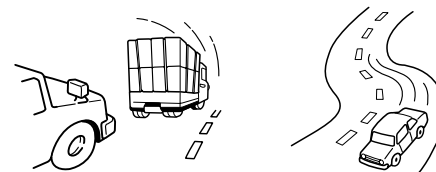
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。

●前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

●対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。



〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕



〔下り坂〕

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

●Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

電源電圧	： DC 3.6V （専用ニッケル水素電池 1.2V×3） DC 12V （シガープラグ入力充電電圧）	受信周波数	： [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 350.1MHz/407.7MHz帯
消費電流	： 待機時：16mA以下 （UHF部 OFF時） 最大：110mA以下	動作温度範囲	： −20℃～+85℃ （GPS部：−20℃～+80℃） （UHF部：−10℃～+60℃）
受信方式	： [GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスー パーヘテロダイン方式	本体外形寸法	： 70(W)×30(H)×109(D)mm （電池部除く）
		本体重量	： 131g（電池含む）

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- 電源スイッチがONになっていますか。 - バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 - オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	- 太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 - シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	- 電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 - 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 - オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 - 取締りレーダー波が発射されていませんか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。（とくにオービスⅢではよくあります） - 取締りが「レーダー方式」で行われていませんか。 - インテリジェント・キャンセルされていませんか。キャンセル中はレーダーアイコンがゆっくり赤の点滅をします。
GPS警報しない	- GPS測位していましたか。 - 新たに設置されたオービスではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	- ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーアイコンが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 - 取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— - 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車輛通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。
ひんばんに2バンド受信する	放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
NシステムGPS告知しない	- GPS測位していましたか。 - 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。
誤警報がキャンセルされない	- 電源スイッチはCANCELの位置でしたか。 - GPS測位していましたか。 - 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 - 取締りや検問ゾーンではありませんか。

